

契約監視委員会議事要旨

1. 日時

令和8年6月5日（金曜日） 10：00～11：30

2. 場所

独立行政法人 航空大学校 危機管理室

3. 出席委員

（委員長）辻 利 則	（宮崎公立大学学長）
濱 田 諭	（弁護士）
清 家 秀 夫	（公認会計士・税理士）
大 井 道 彰	（（独）航空大学校 監事）
中 尾 貴 子	（（独）航空大学校 監事）

4. 議題

令和7年度契約の点検
（件名は別添のとおり）

令和7年度調達等合理化計画の取組実績及び取組に対する自己評価について

令和8年度調達等合理化計画について

5. 議事内容

主な意見質問は以下のとおり

○令和7年度契約の点検について

・帯広分校除雪契約について

質問) アンケートに「公告期間が短かった」との回答が寄せられているが、公告期間の設定についていかがお考えか。

回答) 内部手続の前倒しや公告開始時期の早期化により、公告期間をより長く確保できるよう、取り組みたいと考える。

意見) 他案件では公告期間を長くした結果、準備期間が短くなったとの記載がある。これを踏まえ、準備期間と公告期間の双方について、可能な範囲で余裕をもって設定していただきたい。

・仙台分校航空ガソリン購入契約について

質問) 2年連続で初回入札が不落となり随意契約に移行している状況を踏まえると、入札基準や参加業者への配慮により改善の余地があるのではないかと考える。随意契約では成立する一方で初回入札が決着しない現状について、これを防ぐ方法があるか見解を伺いたい。

回答) 1回目の入札が不調となる状況については有効な対策が難しい面がある。対策の1つとして、予定価格の算定方法の見直しが考えられるが、他空港の航空ガソリン契約と統一的な手法を用いており、仙台分校のみ異なる方法で予定価格を算出することは、整合性の観点から困難である。

質問) 7月以降は予定価格で入札が成立する一方、4～6月を含めると不成立となる理由について伺いたい。当初の予定価格を低く設定しているのか。

回答) 予定価格は、その時点での市場調査価格等を基に算定しているが、この2年間は価格変動が大きく、年間契約を設定する時期がちょうど変動期に重なったため、入札時点で整合せず不調となったと考えている。一方、7月時点では価格が安定していたため、予定価格と応札額が一致し入札が成立したと考える。

質問) 1、2月の変動が大きい時期と入札時期が重なってしまい、社会的な要因による影響を受けたということか。

回答) そのとおり。令和7年度は円安、令和8年度はイラン情勢の影響により価格変動が大きく不調の要因となったと考える。

○令和7年度調達等合理化計画の取組実績及び取組に対する自己評価について

・コンプライアンス研修の受講方法について

質問) eラーニングを基本としつつ、受講期間中に一度でも、全職員が一斉に受講できる時間帯を設けることはできないか。

回答) コンプライアンス研修は昨年度からeラーニング方式を導入して受講しやすい環境づくりを進めているが、ご指摘のとおり集団で受講する機会も有効であるため、今後は、各校の状況に応じて1～2回の集団受講の機会を設け、個別受講との併用を検討する。

意見) eラーニングと異なり、集団受講であれば労働時間の管理がしやすく、受講率の確保や受講の質の向上につながると考える。

質問) 高い受講率の確保だけでなく、受講できなかった職員へのフォローを確実に行うことが重要であるが、いかがお考えか。

回答) 昨年度は研修資料が業者所有のもので、後日受講等の対応も困難であったため、今年度は改善を検討している。資料が提供されない場合であっても、総務課で内容を把握しているため、未受講者には補修の機会を設ける方向で対応したい。

・ 入札関係資料のメール送付・受付について

質問) 入札関係資料の送付や受付をメールで行う方式では、不審メールを開封する危険性があるため、現在アンケートで使用しているような入力フォームを用いる方が、安全性・管理面ともに優れていると思われるが、どのように考えておられるか。

回答) 手続きの電子化により、送付件数が増えて一定の効果がみられる一方で、これまで見られなかったような不審メールが届くケースも増えている。サーバー環境を含め、システムの再構築を進め、メールの送受信を行わずに管理可能な仕組みへの移行を検討したい。

○令和8年度調達等合理化計画について

・ 入学試験（第一次試験）における CBT 方式の運用に係る業務請負

質問) アンケートの中で、ディスプレイのサイズ等の仕様書の条件が競争性を阻害しているのではないかという指摘があったが、この点について見直しは行われていなかったのか。

回答) ディスプレイに関する件については、アンケートでそのような意見をいただいたことを承知しているので、次の発注にあたっては、仕様書の条件について見直しを検討する。

質問) ディスプレイ以外の条件についても、仕様書の条件が競争性を阻害しているという意見があったが、この点について確認したい。

回答) ディスプレイ以外の部分についても競争性を阻害する要因があるのであれば、改善に向けて検討する。

・ コンプライアンス研修の受講率及び内容について

質問) 受講率の目標値が 95%となっていたが、この数値は妥当か。本来は 100%を目指すべきではないか。

回答) ご指摘のとおり、目標値は 100%にすべきであると考えます。しかしながら、受講対象に含まれる職員の中には月 1 回・2 時間の来校となる契約職員も含まれており、研修受講が現実的に難しい。そのため、当該職員には情報提供等を行うこととし、その他の教職員には受講を徹底し、受講率 100%を目指すこととしたい。

【審議結果】

令和7年度契約について、適正な事務手続きが行われていることを確認した。また、令和7年度調達等合理化計画の取組を着実に実施したことを確認した。

令和8年度調達等合理化計画についても引き続き着実に実施して頂きたい。

令和7年度 契約の点検

(1) 3ヵ年連続した一者応札案件（7件）

本校航空機保守

帯広分校航空機保守

仙台分校航空機保守

フラスカ式SR22型飛行訓練装置保守

令和7年度スピン訓練委託契約

令和8年度航空大学校入学第二次試験身体検査

令和7年度航空大学校帯広分校除雪作業

(2) 競争性のない随意契約案件（3件）

財務会計システム賃貸借及び保守

令和7年度航空ガソリン航空大学校仙台分校機上渡しの購入（4～6月分）

航空大学校仙台分校電気設備雷害修繕工事